

京都市生物多様性プランに基づくリーディング事業の取組状況等について（要約）

平成26年3月に策定した「京都市生物多様性プラン～生きもの・文化豊かな京都を未来へ～」(以下「プラン」という。)に基づき実施してきた取組の進捗状況について、記載する。

1 生きものの生息環境の保全

(1) 京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度

京都の祭りや文化を支えてきた生きものの保全・再生のため、活動していただく団体の取組を認定し、必要に応じて技術的な支援のための専門家を派遣する「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度」を創設し、推進している。

創設以降、20件のプロジェクトを認定し、221の団体・事業所で取り組んでいただいている(平成31年3月31日時点)。

2 理解し行動する市民の支援～人づくり～

(1) 京の生きものホットスポット調査

市内の生物多様性保全上重要な場所(ホットスポット)において、活動団体等と連携し、生きものの生息状況のモニタリング調査を行っている。令和元年度には、データが不足している農耕地について、本市が調査を実施する予定である。

(2) 親子生きもの探偵団

京都市の生物多様性の保全に向けた行動の必要性を理解していただくための環境教育・普及啓発の一環として、親子を対象にした自然観察会「親子いきもの探偵団」を開催している。平成30年度までに27回開催し、延べ1,025名が参加している。

平成26年度開催実績	計3回開催,	106名参加
平成27年度開催実績	計6回開催,	232名参加
平成28年度開催実績	計6回開催,	222名参加
平成29年度開催実績	計6回開催,	244名参加
平成30年度開催実績	計6回開催,	221名参加



平成30年度 第2回「大原」



平成30年度 第3回「涉成園」

(3) 地域生きもの探偵団

生物多様性の大切さや豊かな地域の魅力を学ぶことを目的として、市内の小学校在授業等で実施する生きものの観察に、本市が専門家を派遣し、児童が多様な生きものたちのつながり等について学ぶことができる「地域生きもの探偵団」を実施している。これまでに22回開催し、延べ1,181名の児童が参加している。

平成27年度開催実績	計6回	278名参加
平成28年度開催実績	計6回	277名参加
平成29年度開催実績	計5回	215名参加
平成30年度開催実績	計5回	411名参加

(4) まちかど生きもの観察記

子供たちが本市の豊かな自然に触れ、生きものつながりの大切さなどについて理解を深められるよう、身近なまちかどで発見した生きもの情報を作品にした「まちかど生きもの観察記」を募集し、平成30年度は個人の部は73点、団体の部は11点の作品を応募いただいた。その中から、特に優れた作品18点を表彰し、ゼスト御池で入賞作品の展示を行った。



最優秀作品(団体の部)



最優秀作品(個人の部)

(5) 普及啓発活動

ア 生物多様性セミナー



平成30年11月23日開催(キャンパスプラザ京都, 200名参加)

イ 市内全図書館における生物多様性コーナーの設置



中央図書館



右京中央図書館

ウ 各種イベントでのブース出展



西京区民ふれあいまつり



サイエンスフェスティバル

(6) 普及啓発冊子の発行

平成30年度は平成31年3月に以下のア～ウの3種類を発行した。

ア 「京（みやこ）の生きもの発見ガイド」（A5版）

「五感を使って自然と親しむ」ことをテーマとして、野鳥や昆虫の形態や鳴き声、植物のにおいなど、「見る」「聞く」「触る」「嗅ぐ」「食べる」ことで実感することのできる身近な生きものの様々な特徴を紹介している。

イ 「京都の社寺と生物多様性 第四号」（A4版）

京都ならではの自然環境を形づくる重要な要素である、社寺林や庭園の多様な生きものを紹介している。本冊子では「北野天満宮」と「東福寺」について紹介している。

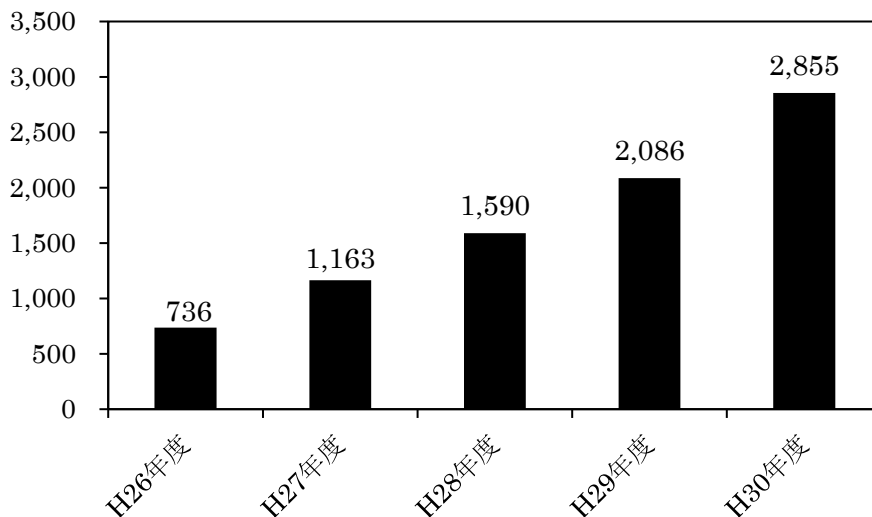
ウ 「京都の文化と生物多様性」（A5版）

「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度」の認定企業・団体による、京都の文化を支えてきた生きものの保全・再生のための取組等を紹介している。

3 活動を促す仕組みとネットワークの構築～ネットワークづくり～

- (1) 京・生きものミュージアム～京都市生物多様性総合情報サイト～(平成26年10月開設)
生物多様性に関する様々な情報を収集・発信するとともに、市民、活動団体、事業者など多様な参加者を結び付ける役割を担う生物多様性総合情報サイト「京・生きものミュージアム」を開設し、活用している。

京・生きものミュージアム 訪問回数(月平均)



(2) SNS

平成22年度にTwitter「京都エコちゃんねる」を、平成25年度にFacebook「京のいきもの探偵団」を開設し、京都の生物多様性に関わる情報を積極的に発信し、事業等の周知やポータルサイトへの誘導につなげている。

なお、これまで本市からの働きかけが希薄であった10代から30代や女性をユーザー層に持つInstagram「京・生きものミュージアム」を令和元年6月から開設した。

ア Twitterの運用実績

フォロワー数：727名(令和元年7月18日現在)

年間投稿数：50件(平成30年度)

年間閲覧数：39,366回(平成30年度)

イ Facebookの運用実績

フォロワー数：257名(令和元年7月18日現在)

年間投稿数：71件(平成30年度)

年間閲覧数：39,206回(平成30年度)

(3) 京都市生物多様性保全活動登録制度

生物多様性保全活動に参加を希望する市民の皆様と、市民の皆様の協力を希望する保全活動団体を結び付ける「京都市生物多様性保全活動登録制度」を創設し、運用している。登録の受付や制度の運用は、ポータルサイト「京・生きものミュージアム」において行っている。

これまでの登録数は、114名の個人と33団体である(平成31年3月末現在)。